令和８年10月29日

関係機関所属長　　殿

熊本大学軽金属材料研究拠点長
山崎　倫昭（公印省略）

熊本大学軽金属材料研究拠点冶金プロセス部門助教候補者の公募について（女性限定）

標記のことについて、本学軽金属材料研究拠点冶金プロセス部門（令和９年４月１日以降：学術院自然科学域材料科学系）助教候補者の公募を行うことになりました。

ついては、ご多忙中誠に恐縮に存じますが、貴機関において助教候補の適任者がおられましたら、下記により御推薦賜りますようお願い申し上げます。

なお、本部門担当助教には、積層造形、塑性変形、材料組織を含む冶金プロセスなどに関連する研究、特にマグネシウム合金やチタン合金などの軽金属材料創製の研究を展開していただき、物質材料工学教育プログラムの教育を担当していただきます。

（注）本学では、令和９年４月１日から新たな教員人事制度及び教員組織体制に移行いたします。

記

1. 募集職名及び人員　　助教１名（女性限定）

2. 採用時期　　令和９年４月１日以降のできるだけ早い時期

3. 所　　属　　熊本大学軽金属材料研究拠点冶金プロセス部門
（注）令和９年４月１日以降
所属：熊本大学学術院自然科学域材料科学系
配属（教育・研究活動を実施する部局）：　工学部、大学院自然科学教育部、軽金属材料研究拠点

4. 専門分野　　冶金プロセス分野（特に金属・合金の積層造形、塑性変形、材料組織に関する分野）

5. 担当科目　　物質材料工学教育プログラムに関する講義科目、実習科目、実験科目、演習科目等

6. 応募期限　　令和８年11月30日（月）必着

7. 応募資格
(1)　博士あるいはPh.D の学位を有する方（採用時までに取得見込みの方も含む）
(2)　軽金属材料の研究の経験は問わないが、金属・合金の積層造形、塑性変形、材料組織等の面から軽金属材料の材料創製の研究に取組む熱意を有する方
(3)　学部および大学院における教育・研究および研究拠点運営に対して熱意を有する方
(4)　専門分野における教育と研究に対して能力と熱意があり、国際的ならびに社会的な教育研究活動に積極的である方
(5)　地域社会や産官との連携に熱意を有する方
(6)　英語による科目の担当ができる方
(7)　外国人の場合には、学内外における諸業務の遂行が可能な日本語能力を有する方

8. 労働条件等

(1) 職務内容　（雇入れ直後）助教としての業務に従事する
（変更の範囲）熊本大学の定める業務

(2) 勤務形態　同意に基づく専門業務型裁量労働制
勤務時間は、職員の裁量に委ねるものとし、1日の勤務時間は7時間45分とみなす

(3) 任期の定め　5年（審査により再採用可。ただし、業績審査の結果、在職した期間における業績が特に優れていると認められた場合は、任期の定めのない職員とする。）

(4) 試用期間　6か月

(5) 勤務場所　（雇入れ直後）熊本大学黒髪地区
（変更の範囲）熊本大学の定める業務

(6) 時間外労働　時間外、深夜、休日労働の有無　有

(7) 賃金等　国立大学法人熊本大学2号年俸制適用職員給与規則に定めるところによる

(8) 社会保険　文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入

(9) 雇用者　国立大学法人熊本大学

9. 提出書類

(1) 履歴書（様式無し、市販のもので可）　1部
写真を貼付し、連絡先欄に電子メールアドレスを記入すること。なお、男女を問わず、出産、育児、介護に専念（あるいは従事）した期間について考慮することを希望される場合は、付記してください。

(2) 業績目録（様式有り）　1部
査読付き原著学術雑誌論文（掲載決定済みを含む）、国際会議論文、レビュー論文、紀要・総説・解説・研究報告等、学位論文、著書、作品、製品、特許、本人発表の講演（招待講演・一般講演の別を明記）、学会賞などの受賞、研究助成などの取得（代表となっているもの）、教育業績、学会等における活動、社会における活動、その他の業績等に区分して記載してください。共著者は全て記入してください。特許については、全特許権者名・全発明者名・発明の名称・公告公開等番頭・出願日などを明記してください。
※ 書式は、下記URLからダウンロードしたのテンプレートに準じてください。
https://www.msre.kumamoto-u.ac.jp/~mg/mrc-template2021.docx

(3) 主要論文の別刷またはコピー（2編以内）　1部

(4) 現在までの研究概要（A4用紙に2,000文字程度）　1部

(5) 今後の研究計画と将来の抱負（A4用紙に1,000文字程度）　1部

(6) 学生の教育に対する抱負（A4用紙に1,000文字程度）　1部

(7) 申告書　1部
（指定様式）https://www.msre.kumamoto-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/07/template1.docx

(8) 応募者について所見を求めうる方（2名いない）の氏名・所属・連絡先　1部

10. 提出方法　郵送もしくはメールにて応募ください。

・郵送応募の場合

上記提出書類を印刷したものを1部と、その電子ファイル（WORD形式　但し、(1)履歴書及び(3)主要論文の別刷についてはPDF形式でもよい）を納めたCD-ROMあるいはUSBメモリを同封した封筒に「熊本大学軽金属材料研究拠点冶金プロセス部門助教応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で下記書類提出先にご送付ください。

・メール応募の場合

メールの件名に「熊本大学軽金属材料研究拠点冶金プロセス部門助教　応募書類」と記入のうえ、以下のメールアドレスに送信ください。

添付する電子ファイルの形式はPDF形式とします。

11. 選考方法　　一次選考　書類審査
　　二次選考　面接審査

12. 書類提出先　熊本大学軽金属材料研究拠点　山崎 倫昭
　　〒860-8555　熊本市中央区黒髪 2-39-1　TEL 096-342-3705（直通）
　　電子メールアドレス：yamasaki@gpo.kumamoto-u.ac.jp

13. 問合せ先　　熊本大学大学院先端科学研究部　眞山 剛
　　〒860-8555　熊本市中央区黒髪 2-39-1　TEL 096-342-3946（直通）
　　電子メールアドレス：mayama@gpo.kumamoto-u.ac.jp

14. その他
- 熊本大学は、ダイバーシティを推進しています。また、女性研究者の活躍促進のため、パートナーとの「一緒に雇用制度」や熊本出身の方への「帰って雇用制度」を設け、採用時に研究活動のスタートアップ支援を行っております。詳細は、ダイバーシティ推進室へお尋ねください。
  https://diversity.kumamoto-u.ac.jp/
- 本公募は、「男女雇用機会均等法」第 8 条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した公募を行うものです。
- 女性限定公募期間において、応募がない場合又は選考の結果、候補者なしとなった場合は、一般公募に切り替えます。
- 業績の評価に当たっては、産前産後休暇、育児・介護休業及び育児・介護のための短時間勤務の期間について、応募者が不利にならないよう考慮します。（※）
- 熊本大学では、教員の英語による教授能力の向上及び英語教育の強化に取り組んでいます。
- 熊本大学では、競争的研究費や民間資金による共同研究等の直接経費の一部を、研究代表者等の給与への上乗せ（年間上限＜助教の場合＞650 万円）、自由裁量経費の配分、若手研究者を雇用できる資金へ転換できる制度が利用できます。
  https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei/kenkyuu/kenkyu/jwalct